



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室
地球やりなおし計画
事務局

世界に誇れる美しい「森の国」日本

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。ふと気がついたら、もう何年も紅葉狩りに行っていません。紅葉は最低気温が6~7 になると始まりますが、見ごろまでは3~4週間かかるそうです。温暖化の影響で冷え込み始めるのが遅くなると、見頃が来た頃には真冬になっているかも(涙)。さて、今月は紙のリサイクルと環境、特に森林との関係についてお話ししたいと思います。森林の保護・育成は、木造住宅の建設を本業としているさつまホームとしても関係の深い問題ですので・・・。



「エコ生活」を検証する・第3回 ~ 古紙のリサイクルが環境を破壊する?! ~

紙のリサイクルはどこまでできるか？

今年早々に発覚した、紙のリサイクル偽装事件は衝撃的でした。リサイクル紙の使用率が「100%」と表示された商品が、実は50%程度だったりするわけですからとんでもないことです。年賀状の「40%」も実態は1%だったそうで、これではリサイクル紙とは名ばかりです。いったいなぜこんな虚偽表示をする必要があったのでしょうか？

背景にはもちろん、環境負荷の少ない紙を求める消費者の存在があります。特に紙の場合、個人よりも企業や官公庁の事務用や出版・印刷業界での使用量が圧倒的に多く、企業としては「環境にやさしい」事をアピールするための施策の一環として、リサイクル紙を積極的に使用する場合があります。

中でも「リサイクル紙100%」に強いこだわりを持っていたのが他でもない官公庁でした。「グリーン購入法」なる法律まで用意して、大口のお客様が「100%でなければ買わないよ」と言い切ってしまったのですから、製紙会社としてはそういう商品を作るほかになかったのです。

しかし、紙のリサイクルは技術的にみても、100%というのはかなり困難な事です。紙はプラスチックや生物の体と同じく



「高分子化合物」というものに分類され、繰り返し使うと劣化します。インクを抜いたり、光沢がある紙のコーティングを剥がしたりするには強い薬品を使うので、ますます傷みが激しくなります。紙のリサイクルはがんばっても3~5回程度が限界だそうです。また、日本人は紙に「白さ」を要求する傾向が強く、古紙の配合率が上がるとそれも困難になってきます。そんな事は製紙会社がいちばんよくわかっているはずなのですが、グリーン購入法やエコブームとの板ばさみに遭った結果がこの度の「リサイクル偽装」につながっていきました。

リサイクルへのこだわりが逆効果に

さらに衝撃的なことは、紙のリサイクルが却って環境に負荷をかけるという事実です。リサイクル工程で使う薬品とその廃液処理、漂白の際の加熱、分別機の電力、回収に使う燃料など、大量の石油とエネルギーを必要とするのだそうです。紙

は木から生まれ、木は自然の恵みによって育ちますから、有限でいずれ枯渇する石油を消費してリサイクルするより、木をきちんと育てて紙として利用するほうが、より「持続可能な」やり方といえます。

紙の消費は森林を破壊するか？

もちろん、自然のものは全て「増えた分だけを自然から分けていただく」という姿勢を守って利用することが必要です。これは森林利用に限らず、狩猟や漁業などにも言えることです。では、紙をリサイクルしないと森林にダメージを与えるのでしょうか？



どうやらこの危機感は、熱帯雨林減少の問題と混同された結果生まれた「幻想」であるらしいのです。世界的に見ると、特にフィンランドでは人口が日本の20分の1程度でありながら日本と同規模の広大な森林を擁していて、2000年のデータでは、実に生育量の1/4を廃棄したと報告されています。私たちは利用可能な森林資源を使いきれしていないのです。



トピック

都内の企業広告、深夜の照明自粛へ

東京都など広告関連の4団体が都内にあるネオンサインなど広告用照明の深夜零時以降の点灯自粛に取り組むことで合意。消灯の開始時期は2009年4月ごろをめどに各社が自主的に判断。企業の環境意識の高まりに加え、業績悪化で広告費や電気代の節減を迫られている会社が多いこともあり自粛が浸透しそう。

07年度の温暖化ガス排出量、2.3%増

環境庁。CO2換算で13億7100万トンと前年度に比べて2.3%増と2年ぶりに増加に転じ、過去最大。省エネを続けてきた産業部門で原発の稼働率低迷により火力発電依存度が高まったことなどが影響。

情報リンク

『偽善エコロジー』武田邦彦著 冬幻舎新書

現代の「エコ生活」の有効性と、行政や企業活動の裏事情まで含めた実態をデータに基づいて検証しています。今回の「地球暮らし」はこの本を参考に執筆しています。

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き「地球暮らし」全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。

編集後記 オバマさん、期待しています！

史上初の黒人の合衆国大統領・・・SF映画には時々登場していた設定でしたが、とうとう現実に。マイノリティ出身の人ですから、弱者を思いやる気持ちをお持ちであると信じます。オバマさんの故郷のアフリカも、地球環境も、その弱者のひとつ。守ってあげてほしいです。

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX : 06 - 6855 - 7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11
（株）さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

